

FDのための情報技術研究講習会開催結果の概要

1. 開催日時：平成31年2月26日（火）～ 27日（水）
2. 開催場所：追手門学院大学
3. 参加者：64名（52大学、1短期大学） 前年度：78名（46大学、1短期大学）
4. 講習会の目標
分野共通で必要と思われる ICT の活用方法および教育改善手法の習得を目的として、事前・事後学修を徹底するための LMS、教員と学生・学生同士による対話環境を支援するツール、動画などの視覚教材、ICT を活用した授業マネジメントなどの知識・理解と情報技術の獲得を目指した。

5. 実施結果

- (1) プログラムは、前年度の形式を継承し、参加教員全員を対象とする「全体会」と希望に応じたアラカルト方式による9つの「ワークショップ」で実施した。
- (2) 全体会では、学生の側に立って ICT を活用して事前・事後学修、教室外での学修、教室内での資料提示、アンケートによる理解度把握、掲示板を活用した意見の共有・討議などの体験イメージを得る模擬授業、著作権の基礎から実際に授業で直面する著作権法に絡む問題や今後の法改正のポイントなどの情報提供を行った。参加の教員からは、「実際の手順を追って ICT 体験ができたのは良かった」、「授業は ICT の進化とともに改訂していかなくてはならないと感じた」、「著作権の認識が甘かったことがよく分かった」、「著作権は学内の講習会よりも分かりやすく参考になった」などの感想が寄せられた。
- (3) ワークショップは、① Google Classroom の活用に2コマ、② LMS の活用に2コマ、③ 動画教材の作成に2コマ、④ アクティブ・ラーニングのマネジメントに1コマ、⑤ ルーブリックの作成に1コマ、⑥ ICT ツール入門に1コマを設定し、アラカルト方式で実施し、以下にワークショップでの参加者の達成度を掲載する。

ワークショップ	達成できた	見通しがたった	達成できなかった
① Google Classroom の活用	3割	7割	
② LMS の活用	4割	6割	
③ 動画教材の作成	3割強	6割	1人
④ アクティブ・ラーニングのマネジメント	3割	7割	
⑤ ルーブリックの作成	4割	6割	
⑥ ICT ツール入門	3割	7割弱	1人

- (4) 以下にワークショップの特徴的な感想を掲載する。
 - ① Google Classroom は、活用を考えている参加者が多く、様々な機能を使うヒントが得られたことから、「常日頃から LMS に興味を持ち体験する気持ちを持とうと思った」、「質問の作り方や授業での使い方が参考になった」、「新年度に向けて目途が立った」などの感想があった。
 - ② LMS は、活用意識が高い参加者が多かったことから、「授業の中で様々な手法を取り入れたい」、「Moodle の使用範囲が習得できた」、「自大学の LMS は機能が少ないので応用が難しいことが残念」などの感想があった。
 - ③ 動画教材の作成は、積極的に取り組まれたことから、「思っていたより手軽に作れるので早速試してみたい」、「動画アップロードまでの疑問点が解決できた」、「動画の編集方法をもう少し知りたかった」などの感想があった。
 - ④ アクティブ・ラーニングのマネジメントは、医療系と基礎教育系に分かれて、それぞれの課題を解決する方策について意見を出し合うことで、「授業に直ぐ使えるような ICT を用いた改善策のヒントを得ることができた」、「今後学んでいく材料となった」などの感想があった。
 - ⑤ ルーブリックは、LMS を使った作成演習と意見交換を行ったことで、「ディスカッションで良い知見を得た」、「学外での活用を模索していたので活路が見出せた」などの感想があった。
 - ⑥ ICT ツール入門は、今年度の新設したコースで、いくつかのソフトと活用方法を紹介したことで、「すぐ使えて役立つツールの紹介でありがたかった」、「ICT を使って授業を進めるアイデアは思い浮かばなかったが小テストができる気がしてきた」、「学生の理解促進のためツールを駆使して工夫していることがわかった」、「使いにくそうだが使いたいツールがあり、もっと練習したい」などの感想があった。